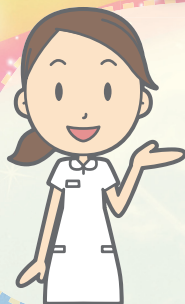


小児難聴外来 開設のお知らせ



難聴をもつお子さんは1000人に1~2人の割合で生まれ、生まれつきの障害の中でも最も多くみられる障害の一つです。きこえの障害はことばの獲得に影響するため、できるだけ早期に発見し療育を始める必要があります。

当院は、日本耳鼻咽喉科学会認定の新生児聴覚スクリーニング後の精密聴力検査機関であり、専門医・言語聴覚士が地域の療育機関と連携しながら、診断から療育まで一貫して行っております。

新生児聴覚スクリーニングとは？

生まれたばかりの赤ちゃんのお耳がちゃんと聞こえているかどうかを調べるための検査で、分娩施設での入院中に任意で行われていますが、いまだ100%の実施率ではありません。

AABR (自動聴性脳幹反応)

…眠っているお子さんに、ヘッドフォンと電極をあてることで検査できます。ささやき程度の音に対する反応が確認できます。



▲MB11ベラフォン：片耳最短短約20秒で測定できます。

▼OAEスクリーナー



OAE (耳音響放射検査)

…音を聞かせると、内耳が振動し、外耳に反射して音が返ってきます。
この反応によって内耳の機能を確認します。

検査にパスしても、後から聞こえが悪くなるケースもあります。

精密聴力検査について

新生児聴覚スクリーニング、乳幼児健診後などで、日常生活で聞こえの悪さが疑われるお子さんに対して、より詳細な検査を行います。

呼びかけても反応が悪い、ことばの発達が遅い、発音がはっきりしないなど、聞こえやことばに心配がございましたら、いつでもお問い合わせください。



医療法人 徹仁会 **厚別耳鼻咽喉科病院**

〒004-0065 札幌市厚別区厚別西5条1丁目16-22 ☎011-894-7003 📠011-894-7005